



本日は 第2954回 例会  
プログラム

そらぶちキッズキャンプの現状について  
No.2776 11月26日(木)

次週以降の予定

12月3日(木) 年次総会

12月10日(木) 忘年会

12月17日(木) 半期を省みて

第2953回 例会報告

2015年 11月19日(木)

会長挨拶



11月はロータリー財団月間でありまして、本日のゲストは遠藤パストガバナーであります。後ほどご講義いただきますが、遠路お寒い中滝川にお越しいただきましてありがとうございます。

さて、以前に「お菓子屋とおできは大きくなったら潰れる。」というお話を致しましたが、あれは良く考えれば今の時代には合わなくなってきていると思います。会員増強して各ロータリークラブの活動が活発になることは望むところですが、国際ロータリーが大きくなってどうするのって話したつもりですが、某シャトレゼに代表されるお菓子屋さんは大きくなって潰れませんし、おできも菓で大きくならぬうちに治療して痕も残らないように出来る世の中になってきました。お菓子屋なんかは、冷凍技術が発達して輸送・流通コストも低く抑えることが出来るようになり大量生産、大量供給が可能になったことで大きくなって潰れない工夫が取られていると思われまふ。我がロータリークラブも大きくなって潰れないように色々な工夫をしてみました。未来の夢計画で財団一般寄付の三年前の各クラブの寄付額の25%を各クラブに還元すると、岨岨ガバナーから変わったことですが、クラブ戦略計画は、昔からあったが戦略という言葉が似つかわしくなくて使っていなかっただけで長期計画を立てて活動を盛り上げようということは昔から変わっていないらしいです。しかし、このクラブ戦略計画を立てるには、親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップをもって行動に表すように指示されていますが、一つ一つの言葉の意味は分かるのですが、果たしてどうゆうふうで会員を導けば良いのか分かりませんし、戦略の意味をネットで調べてみると、「社長向けに書かれた本を読むと必ず出てくるのが戦略です。どの本にも経営で最も重要なのは戦略であると書かれており、中には戦略がなければ経営はできないと断言している人さえいます。ところがアメリカのパーニーが戦略の意味は「著者の数だけある」と言ったように、戦略の意味はコンサルタントによってバラバラでひどく混乱しています。もちろん中には戦略の語源と、全く違った意味で説明している人さえいます。これでは中小企業の社長が、本を読んだり講演を聞いて自分の経営に応用することができないばかりか、場合によっては間違っって受け止め、業績が悪くなる原因にすらなりかねません。」と書かれていました。結局、戦略の意味ははっきりとは分かりませんでした。遠藤パストガバナーにおかれましては、ロータリー財団を通してのロータリークラブのあるべき姿をご示唆願えれば幸いに存じますので宜しくお願いいたしまして、私の会長挨拶を終わらせて頂きます。

幹事報告



- ①. 赤平RCより12月例会プログラム、又芦別RCより会報が届いております。
- ②. 12月6日(日)赤い羽根歌謡大会の入場券販売依頼が参りました。各テーブルに廻しますので、ご入り用の方はお名前と金額をご記入下さい。1枚1,000円です。
- ③. すでにお知らせしておりますが、12月3日(木)は、第12回定例理事会を、第4回クラブ協議会を開催いたします。役員・理事・委員長さんは、予定に入れて下さい。

委員会・同好会報告

親睦活動委員会 本間 保昭 委員長

- 木曜フォーラムのご案内。19日(木)本日18時より「すし処懐石料理やまもと」さんで会費4,500円。講師は深 前幹事です。
- 忘年会のご案内。12月10日(木)18時からホテルスエヒロで行います。夫人同伴例となっております。(奥様は会費5,000円)

麻雀同好会

12日(木)に無事麻雀大会を開催しました。3卓を並べて盛会の内に終了しました。優勝は北川会員、準優勝は深 会員です。

先週のプログラム

◇財団委員会担当例会◇

ーゲスト卓話ー



財団委員会 山口 恵子 委員長

本日は、財団の担当例会でございます。11月は財団月間となっておりますので、会員の皆様に理解を深めて頂くため今回は、地区財団委員長であります遠藤パストガバナーに登別からお越し頂き、財団に対する会員の認識、又寄付を募る重要性などをお話して頂きたくお引きいたしました。遠藤パストガバナーの経歴を少し御紹介させていただきます。

北海道大学医学部を卒業され、医学博士でございます。現在は、社会医療法人友愛会の理事長をなさっております。ロータリー歴は、1969年登別ロータリークラブ創立会員として入会。2004年~2005年、第2510地区ガバナーを歴任されております。それでは、遠藤パストガバナーよろしくお祈りいたします。

「ロータリー財団について」



遠藤 秀雄 パストガバナー(登別RC)地区財団委員長

滝川ロータリークラブの皆様お久しぶりでございます。渡邊パストガバナー、あるいは私がガバナーの時の補佐をお勤めいただいた鈴木先生、お久しぶりでございます。また、大勢の会員の皆様に囲まれてちょっとホッとしているところでございます。財団委員長と言いますと目線に合わせてもらえない立場でございます緊張いたしております。今日は、山口財団委員長から少し早めに終われとご命令を受けております。従いまして手短にお話したいと思っております。財団に対してご注文、あるいはご意見があることは重々存じ上げておりますが、ロータリーにとって財団というのはエンジンにあたりますので一つよろしくお付き合い願いたいと思っております。

●ロータリー財団の使命

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすること。

●ロータリー財団の標語

世界で良いことをしよう (Doing good in the world)

使途指定寄付が一番多いのがポリオでございます。ロータリーの悲願でありロータリー財団の悲願でもあります。ポリオの撲滅ということでございます。これは1985年からポリオ撲滅に乗り出しております。その当時は世界で30万人以上の子供たちがポリオに感染しており200か国以上でございましたが、現在はたったの2か国そして今年の1月から10月21日までの間、最新の報告ではパキスタンに38名アフガニスタンに13名、全部で51名とたったの2桁に減っております。これはロータリーが何十億という寄付をしてきました。そしてポリオワクチンを世界中の子供たちに飲ませて参りました。現在99%の撲滅に成功しております。あと2か国51名で撲滅の見通しが立っております。

もうひとつ、ロータリー平和センターがあります。これはロータリーの悲願であります世界平和に対する寄付が即座に支払われます。

その次に恒久基金と年次基金というものがあります。これに一般的に皆さん方が寄付をしています。恒久基金とは蓄えでございます。従って原資は使われません。我々が寄付をすると3年後にこのお金が使われることとなりますが、この3

年間運用する運用益が財団の活動資金になります。それから年次基金これは原資がそっくり活動資金に使われます。そして3年間蓄えられた運用益が財団の運営費に当たります。この両方集まった財団の活動資金の半分半分が国際財団活動基金と地区財団活動基金に分けられます。

**財団管理委員会 1990年10月決定**  
DDF 60% WF 40%

**2003年7月1日**  
DDF 50% WF 50%

**2015年7月1日**  
DDF 50% WF 45% 管理運営費 5%

ある年度に寄せられた寄付金は、その3年後の使用が可能になる。



**国際ロータリー第2510地区 DDF残高試算表・概算予測**

項目	2014-2015年度	2015-2016年度
収入	1,200,000	1,200,000
支出	1,000,000	1,000,000
繰越金	200,000	200,000

**財団への寄付(2510地区)**

年度	寄付総額
2011-2012年度	206,992.00
2012-2013年度	206,992.00
2013-2014年度	213,174.88
合計	623,936.87

私共2510地区はの過去3年間の寄付の状況ですが、少しずつ減っています。非常に残念ですが昨年度新たにポール・ハリス・ソサイエティという制度が3年前からできております。大口寄付をされる方が出てきたということで623000ドルの寄付が集まり少し上向きに喜ばしい結果が出ております。

**未来の夢計画**

2017年がロータリー財団創立100周年になる。それに向けて財団管理委員会は奉仕活動分野において、財団が時代にあった存在であり続けるために改革を進めたいと考へた。

2005年4月「未来の夢委員会」を設置

2007年 規定審議会で採択

2008年6月 RI理事会で承認

2010年7月 パイロット地区で実施 - 100地区 (日本では6地区)

2013年7月 全地区で実施

未来の夢計画の目的はプログラムと運営の簡素化です。人道的支援、教育的支援そういった支援に対して12のプログラムがあり非常に複雑になっておりました。現在は2つになっております。

もう一つは奉仕活動をするために焦点を絞ったほうが良いのではないかと考えたことと6つの重点項目がございます。

2つの補助金というのは世界的目標に使う補助金と地元を使う地区補助金になります。地区補助金に関しては意思決定権を地区とクラブに移行することでロータリー財団が自分たちのものである自覚をたかめてほしいと考えています。それから公共的イメージを高めてほしいということが目標です。

- 重点分野**
1. 平和と紛争予防/紛争解決
  2. 疾病予防と治療
  3. 水と衛生
  4. 母子の健康
  5. 基本的教育と識字率向上
  6. 経済と地域社会の発展

**4. 補助金制度**

種類	金額	対象
国際財団補助金	1000ドル	国際財団の活動資金
地区補助金	1000ドル	地区の活動資金

**税制上の優遇処置**

項目	内容
個人寄付	所得税控除
法人寄付	法人税控除

- ロータリー財団への寄付**
1. 財団友の会 毎年100ドルずつ1000ドルに達するまで寄付
  2. ポール・ハリス・フェロー 1000ドル
  3. マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1000ドル寄付した人がその後1000ドルずつ
  4. ベネファクター 恒久基金1000ドル以上
  5. 大口寄付者 寄付の種類を問わず10,000ドル以上
  6. アーチ・クラブ・ソサイエティ 寄付累計25万ドル以上
  7. ポール・ハリス・ソサイエティ 毎年1000ドルずつ

本来財団は世界に一つであるべきだが、本国の地以外に財団の協力組織を設立した方が寄付を募る上でも奉仕活動の面でも有益であると認識され、カナダ、ドイツ、インド、英国、オーストラリア、ブラジル、日本で設置されている。

日本財団は、2003年に登記され、その後2010年12月に公益認定を受けることとなった。

これに伴って、個人および法人の寄付に対して税制上の優遇措置を受けることができるようになった。

例えば、個人寄付の場合、一年間の特定寄付の合計額から、2,000円を引いた金額が、総所得金額から控除できる。ただし、その年の総所得の40%相当額が限度となる(法人寄付の場合には、通常の一般寄付金の損金算入限度額と同額以上が別枠として、損金算入が認められる)。

- 第2510地区の活動計画**
1. ロータリー財団管理委員会の優先項目や目標達成に協力する。特にポリシー撲滅に協力する。
  2. 「毎年あなたも150ドルを」に協力しよう。
  3. ロータリー平和センター・プログラムの推進に協力しよう。
  4. ロータリーカードの入会に協力しよう。
  5. ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めよう。

**2015-2016年度 クラブ社会奉仕活動プロジェクト**

クラブ名	奉仕金額	高定額	内 容
1 宮崎	295,800	147,900	公共福祉、ボランティア活動に積極的
2 福岡	295,000	120,000	福祉の発展に積極的、ボランティア活動に文化学習の支援を行う
3 鹿児島	300,000	170,000	ボランティア活動に積極的、ボランティア活動に文化学習の支援を行う
4 鹿児島	469,244	234,622	ボランティア活動に積極的、ボランティア活動に文化学習の支援を行う
5 札幌	450,000	300,000	ボランティア活動に積極的、ボランティア活動に文化学習の支援を行う
6 札幌	180,268	120,000	ボランティア活動に積極的、ボランティア活動に文化学習の支援を行う
7 札幌	300,000	187,500	ボランティア活動に積極的、ボランティア活動に文化学習の支援を行う
8 札幌	300,000	130,000	ボランティア活動に積極的、ボランティア活動に文化学習の支援を行う

- 地区補助金の活用条件**
1. 補助金管理セミナーの受講
  2. 補助金受取の専用銀行口座の開設
  3. クラブで補助金活用管理の徹底
  4. 補助金活用に関する所用書類の一定期間の保存
  5. クラブ誓書(MOU)への同意署名
1. 奉仕活動の準備・計画の提出 前年度3月31日
2. # 実施・報告書の提出 終了後2ヶ月以内

他方、各クラブからの補助金活用の申請申込みは、この数年間は10数件でしたが、2013年度においては34件(1,150万円)の申請がありました。

**2015~2016年度 地域社会活動費** 3.8万ドル

**奨学金、災害復興支援、国際奉仕活動費** 3.8万ドル

**ロータリー財団管理委員長は** レイ・クリンギンズミス氏

管理委員会の2015年7月から3年間での取組む優先項目

1. 永久にポリオを撲滅する。
2. ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。
3. 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的社会活動費
4. ポリオラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。



**宮崎 英彰会員**  
遠藤秀雄地区財団委員長のお話を聞く事が出来有難うございました。

**松原 章会員**  
第2グループガバナー公式訪問(4クラブ)無事終わって。

**鈴木 忠男会員**  
遠藤パストガバナーのすばらしい卓話を久しぶりに拝聴して。

**渡邊 恭久会員**  
遠藤パストガバナーの当クラブ例会に、講師としてのご出席を歓迎して。

**神部 洋史会員**  
地区財団委員の頃大変お世話になって。遠藤パストガバナーをお迎えして、有難うございました。

**米倉 慎一会員**  
10月25日、当社倉庫の火災では、皆様に大変ご心配をおかけしました。又、クラブ会員の皆様より、過分なるお見舞い、励ましのお言葉をいただき心より感謝申し上げます。プラス、久し振りに麻雀大会に参加して。

**宇山 昌宏会員**  
孫が皆様にお世話になり、アメリカでの短期留学から無事帰ってきて。

**細田 光人会員**  
結婚記念日に記念品を頂きましてありがとうございます。明日11月20日がその日です。

**深澤 和範会員**  
麻雀大会で準優勝して。馬券も当たり有難うございました。

**小山 進会員**  
麻雀大会に役員の方々、ご祝儀有難うございました。

**北川 文夫会員**  
麻雀大会で優勝しました。

**川口 義弘会員**  
麻雀大会、最終戦で北川会員にやられました!!

**坂本 和繁会員**  
野球部納会で、優秀投手賞をいただいて。細田監督有難うございました。ワイン美味しくいただきました。

**山口 恵子会員**  
遠藤パストガバナーをお迎えして、担当例会を終えて。

**山崎 修会員**  
担当例会を終えて。有難うございました。

**麻雀同好会**  
宮崎年度麻雀同好会を盛会に終了できました。

会長/宮崎 英彰  
幹事/渡辺 浩司  
編集/クラブ会報委員会

例会日●毎週木曜日 PM0:30  
例会場●ホテルスエヒロ  
事務局●ホテルスエヒロ 7F

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

〒073-0032 滝川市神町2丁目2-16  
TEL (0125) 22-3344  
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。